

$x > 0$ で定義された2つの関数 $f(x) = \log x$ と $g(x) = (\log x)^2$ について以下の問いに答えよ。

- (1) $y = f(x)$ は単調増加であり、そのグラフには変曲点がないことを示せ。
- (2) $y = g(x)$ の増減、凹凸を調べ、そのグラフをかけ。

$y = g(x)$ が最小値をとるときの x の値を a とし、 $y = g(x)$ のグラフの変曲点の x 座標を b とする。

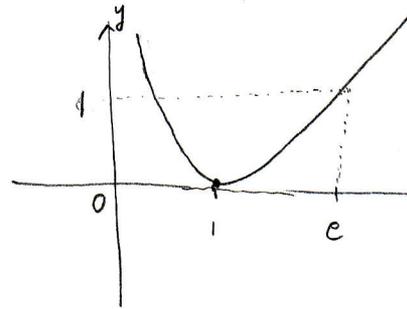
- (3) 曲線 $y = f(x)$ と x 軸、および直線 $x = b$ で囲まれた部分の面積を求めよ。
- (3) 曲線 $y = g(x)$ と x 軸、および2直線 $x = a, x = b$ で囲まれた部分の面積を求めよ。

[中央大]

1) $f'(x) = \frac{1}{x}$ $x > 0$ であるから $f'(x) > 0$ となり単調増加である
 また $f''(x) = -\frac{1}{x^2}$ であり $x > 0$ なら $f''(x) < 0$ であり $f''(x) = 0$ とする x も存在しない
 よって変曲点も存在しない

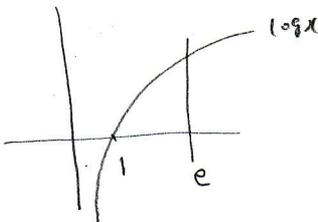
2) $g'(x) = 2 \cdot \frac{1}{x} \log x = \frac{2 \log x}{x}$ $g'(x) = 0$ とする x は $x = 1$
 $g''(x) = \frac{\frac{2}{x} \cdot x - 1 \cdot 2 \log x}{x^2} = \frac{2 - 2 \log x}{x^2}$ $g''(x) = 0$ とする x は $x = e$
 以下増減表をかく

x	0	...	1	...	e	...
$g'(x)$		-	0	+	+	+
$g''(x)$		+	+	+	0	-
$g(x)$		↘	0	↗	1	↗



$g(x)$ は $x = 1$ で極小値をとり $x = e$ は変曲点の座標は $(e, 1)$ である

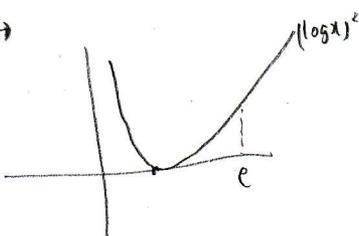
B)



2) 3) $a = 1, b = e$ であるから求める面積は

$$\int_1^e \log x \, dx = [x \log x - x]_1^e = (e - e) - (0 - 1) = 1 \quad \text{B) } \underline{1}$$

C)



$$\begin{aligned} \int (\log x)^2 \, dx &= x(\log x)^2 - \int x \cdot 2 \cdot \frac{1}{x} \log x \, dx \\ &= x(\log x)^2 - 2 \int \log x \, dx \\ &= x(\log x)^2 - 2x \log x + 2x + C \quad (\because C \text{ は積分定数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore \int_1^e (\log x)^2 \, dx &= [x(\log x)^2 - 2x \log x + 2x]_1^e \\ &= (e - 2e + 2e) - (0 - 0 + 2) \\ &= e - 2 \quad \text{C) } \underline{e - 2} \end{aligned}$$